

日米合同軍事演習反対 11・22あいば野集會に結集しよう!!

和田喜太郎

今年一二月下旬から一月上旬にかけて、あいば野演習場で日米共同演習が実施される。参加部隊は陸自第17普通科連隊(山口県)と、米軍第31海兵機動展開部隊(沖縄県)で、約二週間、双方とも約二五〇人の中隊規模と報道されている。正確な期日や演習内容などはまだ公表されていない。近年、防衛当局は演習内容など事前、事後にも広報しなくなつた。相次ぐ「情報流出」のトラウマなのだろうか。

一〇月から一二月にかけて、陸自西部方面では大矢野原演習場で日米共同演習、東部朝霞では方面隊日米指揮所演習、そして九州周辺の空・海域と陸自日出生台では、今年度最大の統合実動演習が実施される。あいば野での共同演習もこれらと連動することになる。

あいば野は明治以来の陸軍演習場だった。戦後も西日本本土最大の陸自演習場として使用され、戦車・特科(野砲)大隊や、空自ミサイル部隊が駐屯する。演習場内には滑走路や各種射撃場、外来宿舎など訓練諸施設がある。農家過疎化のなかで買取がすすみ、溜弾砲射撃も可能となつた。

最近では建設費数億と言われるコンクリート打ちっ放し、都市ゲリラ戦用の「模擬市街」が造成され、前回二〇〇六年二月第九回目の日米共同演習では、初めてこれらが共同演習に使用され、米軍指導によるゲリラ掃討訓練が行われた。

一九八六年の第一回共同演習以来、米側参加は主に沖縄の海兵隊だが、まれに九七年のように関空経由、米本土から歩兵部隊が参加したこともあった。もちろん入国審査なしのフリーパス。かつて冷戦時代は「若狭湾に仮想敵が上陸侵攻」「あいば野でこれを撃破」という想定だったが、現在は「北九州方面に仮想敵が上陸侵攻」「米軍の応援でこれを殲滅」というのがパターンのようだ。伊丹駐屯地で行われた「陸自方面隊指揮所演習・ヤマサクラ」のシナリオにも共通する。

「いつかは肩を並べて共に戦うときがくるだろう」、かつて共同演習最終のセレモニーでの米軍司令官の言葉は印象に残っている。沖縄の海兵隊はイラクやアフガンでの実戦経験者も多いが、自衛隊員は訓練はしても実戦経験はない。「手取り足取り、教えてやるからついてこい」ということだろう。

「3次防」から「4次防」にかけ、防衛庁はミサイル・ナイキJの全国配備を

決定し、七〇年に近畿・中京では各務原、あいば野など五ヶ所に配備を内定した。七二年あいば野にこつそり発射台を搬入したが、防衛2法案廃案で野ざらしとなつたこともあった。阪神地区では能勢や三田を内定したが、反対運動などで断念せざるを得なかつた。結局国有地の各務原、あいば野、三重の白山などがナイキ基地となり、そして今回、新型ミサイルPAC3が、来年二月から夏にかけてあいば野にも配備される。したがって日米共同演習反対とともに、新ミサイル配備反対を射程においたのが今回の集會の趣旨でもある。

私たち市民運動サイドでは、地元滋賀をはじめ、京都・大阪・兵庫などの団体呼びかけの枠組みで日米共同演習反対の取り組みを継続してきた。そして今回の反対集會を契機として、「あいば野に平和!近畿ネットワーク」と呼称することが確認された。さらに画期的なことは、連合サイドの「フォーラム平和近畿ネットワーク」と共催で集會を開催することとなった。

二四日には今津住吉公園で二時から「ふるさとを米軍に使わせない県連絡会」など共産党サイドの反対集會も予定されている。これら三者による集會は今のところ困難としても、とりあえず二者による集會実現は、反対運動の新たなページを開くこととなる。

* * *

(わだ・きたろう/関西共同行動)

アメリカ軍の世界的な再編が進められています。日本では、在日米軍基地と自衛隊基地を一体的に使用し、米軍と自衛隊が一体となって活動することが行われます。そして、滋賀県高島市の自衛隊今津駐屯地、あいば野演習場でも、11月末から日米合同軍事演習が行われることになっています。このようなことが進めば、自衛隊がアメリカ軍と同じように見なされ、戦争に巻き込まれていく危険が増大します。私たちは、日米合同軍事演習に反対するため集會を行います。多くの方の参加をお願いします。

◆日時等：二〇〇八年一月三日(土) 受付開始 13:00~

日米合同演習とPAC3ミサイル配備など中止申入/△ミニコンサート/趙博さん/△反対集會連帯挨拶、決意表明など/一六:00、デモ行進

◆場所：今津町橘公園(JR湖西線今津駅下車徒歩三分、高島市役所別館横)

◆主催：フォーラム平和関西ブロック(TEL:077-522-4644 滋賀県民運動センター) / あいば野に平和を! 近畿ネットワーク(TEL&FAX:077-574-0204 憲法を生かす会滋賀)